

日本語を勉強しているみなさとく

「にほんご よむよむ文庫」は、

日本語を勉強しているみなさんのための「読みもの」シリーズです。

わかるものをたくさん読むと、知らない漢字の読み方や言葉が身につきます。

読んだ話をCDでも聞いてみてください。読みながら聞いてもよいでしょう。
田からも耳からもどんどん日本語を吸収しましょー。

「にほんご よむよむ文庫」4つのルール

- 1 やさしいレベルから読む。
- 2 辞書を引かないで読む。
- 3 わからないうちは飛ばして読む。
- 4 進まなくなつたら、他の本を読む。

クリスマスプレゼント

(原題: *The Gift of the Magi*)

にほんご よむよむ文庫 レベル2

原作(げんさく) : オー・ヘンリー(おー・へんりー)

簡約(かんやく) : 栗野 真紀子(あわの まきこ)

挿絵(さしえ) : 樋口 たつの(ひぐち たつの)

監修(かんしゅう) : NPO法人日本語多読研究会(にほんご たどく けんきゅうかい)

一九〇五年のアメリカ、ニューヨーク。

街には、背が高いビルがたくさんあります。きれいな店もたくさんあります。

大きなアパートには、お金持ちや有名な人たちがたくさん住んでいます。

でも、こんな二ゴードークにも、お金持ちじゃない人たちもたくさん住んでいます。

そんなたちは、どんなところに住んで、どんなといふで働いているのでしょうか。



これは、お金のあまりない夫婦、ジムとテラの話です。

若い一人は古いアパートに住んでいます。部屋は、二つだけです。

部屋には、絵も写真もありません。テーブルの上にも何もありません。

一週間ハドルの安いアパートです。

ジムは、一週間に六日間、朝から晩まで働いて、二十ドルもります。

毎日とても疲れます。ですから、家までゆっくり歩いて帰ります。

アパートに着いて、家のドアを開けると、そこには、いつも奥さんのテラが待っています。

ジムの大好きなテラが……。

ジムが帰つてくると、テラは、テーブルに温かいスープとパンを置きます。

そして、きれいな茶色の田ぐじムを見ます。

ジムもテラを見て、にっこり笑います。テラも笑います。

一人でいると、お金がないことも、疲れていることも、忘れます。



十一月の寒い日のことじゅ。

ジムは、朝、仕事に行きました。テラは、家で掃除と洗濯です。

それが終わると、テラは、財布を持ってきて、テーブルの上にお金を出しました。
全部出しました。

——一ドル八十七セント。これだけ……。

これでは、ジムにクリスマスプレゼントを貰つたりができないわ。どうしましょ——
クリスマスは明日です。テラは困りました。



テラは鏡を見ました。

鏡の中には、テラの悲しい顔がありました。

そして、とてもきれいな茶色の長い髪が……。

ジムは、いつも

言つていました。

「僕は、

テラの髪が大好きだ。

本当にきれいだ」

ジムと「父」には、大切なものが二つありました。

ひとつは、この「父」の髪です。

そして、もう一つは、ジムの金の時計でした。

金の時計は、ジムがお父さんからもらひた

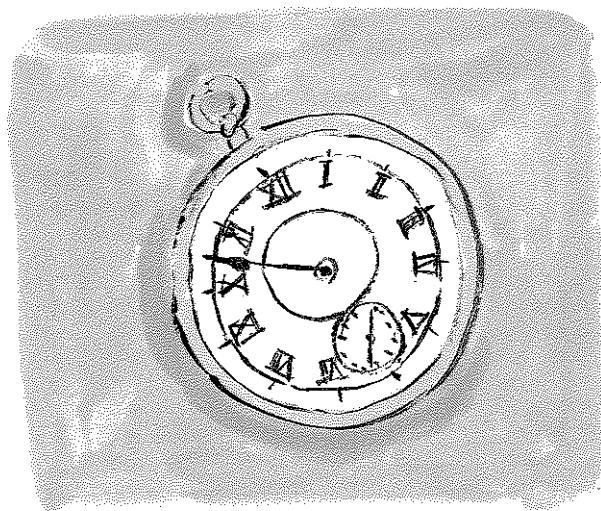
ものです。とてもきれいな時計です。

ジムは、いつもじくでや、

この金の時計を持つてきました。

ジムは、鏡の中の自分の髪を長い時間見ていました。

それから、急いで「父」を着て、帽子をかぶって、外へ出でました。



デラは、「一番街」まで走つてきました。

そこには、きれいな店がたくさんあります。
みんなクリスマスの買い物をしていました。

デラは、ある店の前で止まつました。

髪を賣ります

デラは、その店に入つてしました。

デラは帽子をとつて、

店のおばあさんに聞きました。

「私、髪を売りたいんですが……」

おばあさんは、デラのきれいな髪を見て、
言いました。

「そつだね……。二十ドルだね」

デラは言いました。

「じゃあ、切つてください」

デラは、おひぐり椅子に座りました。



デラは、二十一ドルをかぶつて、
帽子をかぶつて店を出ました。
午後二時でした。



デラは、いろいろな店を
見て歩きました。
—ジムアーヴィングブレゼンと
アントンを買いました —

それから、一時間……。

デラは、ある店の前で止まりました。

店の前のショーウィンドーに
時計の鎖がありました。

「これがいいわー。」

それは金の鎖でした。

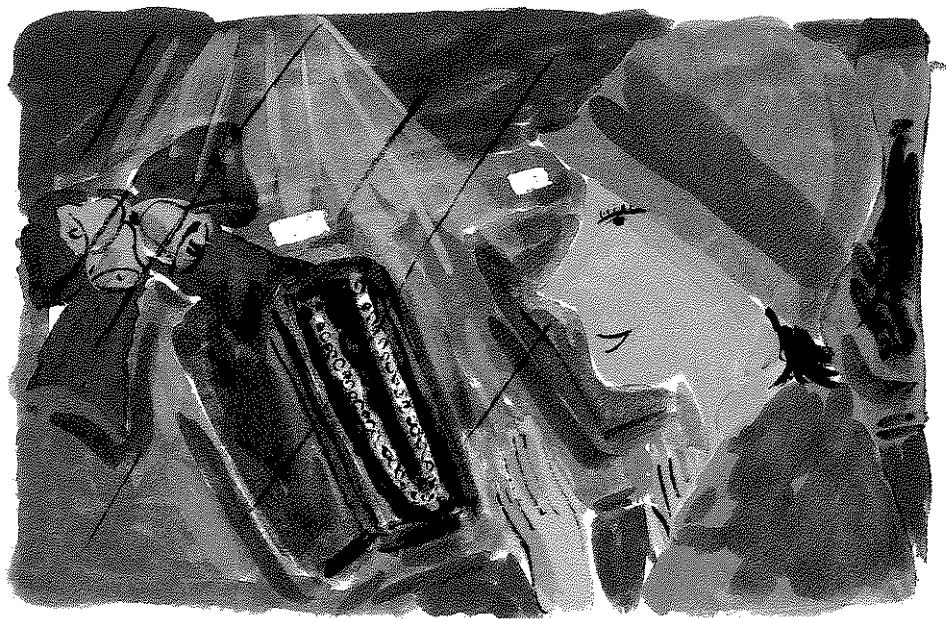
デラは思いました。

——これをジムの金の時計につけて、

とてもこじわ —

二十一ドルでした。

デラは、すぐこの鎖を買って、
急いで家に帰りました。



ジムの大好きな髪を切ったのです。テラは心配になりました。

午後七時です。

足音が聞こえました。ジムです。ジムが帰ってきました。

ドアが開いて、古いコートを着たジムが入ってきました。ジムはテラの髪を見ました。

ジムはびっくりしました。でも、何も言いません。

テラは言いました。

「ジム、じめんなさい！ 私、あなたが好きだった髪を売ったの。

私、あなたにどうしてもクリスマスプレゼントを貰いたかったの。

でも、大丈夫。髪は、すぐ長くなるわ」



テラは家に着くと、クリスマスの料理をつくりました。

「できた。これでいいわ」

テラは鏡を見ました。

鏡の中には、

とても短い髪のテラがいました。

——ジムは、この髪を見て

何と驚いてしまった——

ジムは静かに語りました。

「髪が短くても長くとも、僕は、デラが好きだよ。さあ、これは、僕からのプレゼントだよ」

デラは、ジムからのプレゼントを開けました。

デラは大きな声を出しました。

「あ、あのくしだわ！ あの店のくしだわ！ これ、前から欲しかったの。ああ、うれしい！ 本当にきれい。あ、でも、わたくし私の髪は……」

プレゼントは、長い髪につけるくしでした。デラが前から欲しかったものです。デラは、毎日、「五番街」の店にあつたこのくしを見ていました。デラは悲しくなりました。

でも、おぐに元気を出して語りました。



「髪は、また長くなるわー。それまで少し待ちましょー。」

ジム、私のプレゼントも開けてー。」

デラは、ジムにプレゼントを渡しました。ジムは、プレゼントを開きました。

金の鎖です。

「ね、あれこれじょひー。あなたの時計につけてー。とつてせめてと頬つわー。」

と、デラが頬つました。

ジムは、すべには答えませんでした。

それから、静かに頬つました。

「うー。やつ、あの金の時計はないんだ……。僕、あの金の時計を売つて、

そのお金でこっこ買つたんだみ」



テーブルの上には、
今年の一人のクリスマスは、
とてもじぶんクリスマスになります。
温かいクリスマスの料理と、
くじと、金の鎖がありました。



オー・ヘンリー O. Henry (一八六二—一九一〇年)

アメリカの作家。

オー・ヘンリーは、十五歳で学校を出でから、いろいろな仕事をしましたが、二十五歳の時、結婚して、しばらく幸せに暮のつてしまった。『クリスマスプレゼント』(原題The Gift of the Magi) の「マジ」は、自分の奥さんになると謂われています。

その後、雑誌を作りながら銀行で働いていましたが、一八九八年に、銀行の金をとったと疑われて中央アメリカのボンジコラスに逃げました。奥さんが病気になつたのでアメリカに帰ってきて、次の年に刑務所に入りました。そこでたくさん的小説を書いて、刑務所を出た時は、もう有名な作家になっていたのです。

一九〇一年、ニューヨークに行つて小説を書き続けました。小説はどれも短いもので、大都會、二コ一コ一々暮らす貧乏な若者や夫婦や店員など、普通の人々が出てきます。最後にちよつと笑つてしまつたり、悲しくなつたり、考えさせられたりする話ばかりです。四十八歳で死ぬまでに、短編小説を何冊も書きました。

〔The Gift of the Magi〕(正題ぞうじょ ものもの文庫 [コグニ] >O一四四)、『The Last Leaf』
など有名です。

<監修者紹介>

NPO法人 日本語多読研究会 (にほんご たどく けんきゅうかい)

当研究会は、学習者のための「読みもの」を作ることを目的に、2002年1月に発足した日本語教師の集まりです。2006年9月にNPO法人になりました。「レベル別読みもの」を開発したり、それらを使った「多読」授業の実践・研究をしたりしています。<http://www.nihongo-yomu.jp/>

レベル別日本語多読ライブラリー (にほんご よむよむ文庫)

[レベル2] vol.1

クリスマスプレゼント

2006年10月10日 初版発行

原作：オー・ヘンリー

簡約：栗野 真紀子（日本語多読研究会会員・日本語教師）

作画：樋口 たつの

監修：NPO法人 日本語多読研究会

ナレーション：篠原 明美

録音・編集：スタジオ グラッド

デザイン・DTP：有限会社トライアングル

発行人：天谷 修平

発行：株式会社アスク 出版事業部

〒162-8558 東京都新宿区下宮比町2-6

TEL.03-3267-6866 <http://www.ask-digital.co.jp>

印刷・製本：株式会社光邦

許可なしに転載・複製することを禁じます。

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

© NPO法人 日本語多読研究会 2006

Printed in Japan ISBN4-87217-625-1

Masarykova univerzita Filozofická fakulta, Ústřední knihovna
Příl.č. 15-9732-08
Sign.
Syst.č. 564755

にほんご よむよむ文庫

これは、日本語学習者のための「読みもの」シリーズです。
学習者がレベルに応じて、楽にたくさん読めるように、語彙や文法が制限してあります。

- 初級から中級まで4レベルあり、昔話、創作、名作、伝記など内容もさまざまです。楽しく読んでもらうために、カラー挿絵が豊富に使われています。
- 漢字には全部ふりがなが付いています。たくさん読むうち自然に漢字の読み方や言葉が身につくでしょう。また、レベル3まではカタカナにもふりがなが付いています。
- 例外的に制限語彙以外の言葉が使われている部分もありますが、その場合は文中で説明したり、挿絵を付けるなどして、理解できるよう工夫されています。
- 朗読CDを聴きながら読んだり、読んだ後で、朗読だけ聴いて楽しむこともできます。また、シャドーイングをして発音やリスニング力をつけることもできるでしょう。

レベル	能力試験	語彙	字数／1話	主な文法項目
1 <small>初級</small>	4級	350	400 ~1500	現在形、過去形、疑問詞、～たいなど ※「です・ます体」だけを使っています。
2 <small>初級進化</small>		500	1500 ~2500	辞書形、て形、ない形、た形、連体修飾、～と(条件)、～から(理由)、～なる、～のだなど
3 <small>初中級</small>	3級	800	2500 ~5000	可能形、命令形、受身形、意向形、～とき、～たら・ば・なら、～そう(様態)、～よう(推量・比喩)、複合動詞など
4 <small>中級</small>	2級	1300	5000 ~10000	使役形、使役受身形、～そう(伝聞)、～らしい、～はず、～もの、～ようにする／なる、～ことにする／なるなど

*語彙は、「日本語能力試験出題基準〔改訂版〕」(凡人社)の級別語彙表を参考にレベル分けしています。

*文法項目は、市販されている主な初級のテキストの文法シラバスを調査したり、実際に日本語学習者に読んでもらうなどして、レベル分けしました。

テキスト名 「みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ」スリーエーネットワーク編著 スリーエーネットワーク

「新文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ」文化外語専門学校編著 凡人社

「JAPANESE FOR BUSY PEOPLE Ⅰ～Ⅲ」筑波ランゲージグループ著 凡人社

「Situational Functional Japanese Ⅰ～Ⅲ」国際日本語普及協会著 講談社インターナショナル

「初級日本語 げんき Ⅰ・Ⅱ」伴野 永里、大野 裕 ほか著 ジャパンタイムズ

レベル別 日本語多読 ライブラリー

にほんご よむよむ文庫

レベル1~4 / vol.1

監修：NPO法人日本語多読研究会

◎各A5判、5冊／1ケース、CD1枚付き

◎各2,415円(税込み)

レベル2が終わったら
次のレベルへ
ステップアップ！

各レベル
5冊セットで
好評発売中

Knihovna FF MU Brno



2570809732

レベル3



小泉八雲の怖い話 むじな／幽霊滝



注文の多い 料理店



かぐや姫

100年以上も前の東京。暗い夜道でおじいさんが見たものは？[むじな]賽銭箱を取りに幽霊滝に向かったおかつの運命は？[幽霊滝]
ギリシャ生まれの作家、ラフカディオ・ハーン(後の小泉八雲)が集めた日本の恐いお話。

二人の男が、森の中を歩いています。お腹もすいたし寒いので、帰ろうとすると、突然、森の中にレストランが現れます。
たくさんの童話を残した宮沢賢治の名作。



この人だあれ? お札の話



芥川龍之介短編集 蜘蛛の糸／鼻

2004年に新しくなった日本のお札。そのお札に描かれている人たちは、どんな人たちでしょう？
福沢諭吉、樋口一葉、野口英世の一生を紹介します。

お釈迦さまは、地獄にいるカンダタを助けようとしています……。[蜘蛛の糸]
お坊さんの禅智は、大きな鼻を小さくする方法を試してみますが……。[鼻]
日本の代表的な作家、芥川龍之介の短編小説。

●vol.2は2007年春に発売予定！

○レベル3 vol.1 ISBN4-87217-626-X

▶お問い合わせ 株式会社アスク 出版事業部 tel:03-3267-6866 fax:03-3267-6867
○アスクサイト <http://www.ask-digital.co.jp>

